



5 団 だより



お友だちを
活動にさそって
スカウトの輪を
ひろげよう!

特集

2008 夏の村を振り返って

スタートラインに立って

団委員長 **當麻洋一**

記録的な猛暑の夏も終わり、新しい年度のスタートを切る時期になりました。一般的な「年度始め」とは異なり、スカウト活動では秋を新しい年度の始まりとしています。これは、「夏のキャンプ」が一年間のプログラムのピークとなるように、サイクルを設定しているためです。

スカウト活動は野外を主なフィールドとして展開されます。中でもキャンプはスカウトたちにとって最大の冒険であり、班や組の仲間たちと寝食を共にする「濃密な生活体験」の場です。そこでは、食事や寝床といった“生活の基本”から、着替えや荷物の整理といった身の回りの細事に至るまで、個人は自分が属するグループのペースに、グループは構成メンバー個人々の特性に、それぞれ心を添わせ理解・協力し合うことが求められます。

今、子供たちは、幼い時から家庭内では個室を与えられ、中学生になる頃には携帯電話やパソコンなど、パーソナルな環境のままで外の世界と繋がるツールまで手にします。しかし、人間としてのコミュニケーション能力は、本来、生身の人間同士が「顔と顔を合わせ」「心と心を通わせる」ことを通じて身につけて行くものです。スカウトたちのキャンプ生活は、思い通りにならない大自然のご機嫌をうかがいつつ、家族以外の人間、それも年齢の異なる“縦社会”の中で、お互いが心身を触れ合わせながら数日間を過ごします。楽しいプログラムばかりではなく、体力的に辛いことやスカウト同士での衝突もあることでしょう。その時彼らは、一人の人間として主張し・

我慢し・納得することや、他者を思いやり・他者と助け合うことなどを、理念ではなく「生活上の実体験」として学びます。

キャンプの一日の日程が全て終了し、スカウトやご奉仕の保護者の皆さんが寝静まった頃、スカウトのサイトやバンガローから離れたボーイ隊の本部では、今年もスカウト経験を持つ指導者やローバースカウトが集まり、ランタンの明かりを囲んで夫々の体験談を語り合っている様子がありました。かつては、“隊長とスカウト” 或いは “大先輩と後輩” といった関係であった者が、数多くのキャンプを共に過ごし、今では「目的を共有する友人同士」として、年齢・年代を超えて楽しくもアツク談論する様子を毎年のように見るにつけ、スカウト活動を通じてゆっくりと時間をかけて養われた人間関係の強さ・深さに思いを新たに致します。

「野外を教場とすること」「小グループ(班や組)活動を基盤として青少年の自発性を育むこと」「BVSからRSまで続く一貫教育であること」。スカウト活動の特徴は、それぞれが有機的に結び合っており、スカウト一人ひとりの人格を豊かに育む優れた教育システムを形づくっています。そして、このシステムをしっかりと機能させ、よりよい効果を上げるためのエネルギー源は、今も昔も活動を支える成人の熱意に他なりません。

真新しいスタートラインの先には、すでに一年後の夏が目標として見据えられています。団と各部門の連携をしっかりと図り、更に楽しく充実した活動の展開に努めて参りましょう。



二〇〇八夏キャンプ

カブ隊副長

佐々木孝文

大滝キャンプ場での夏キャンプに参加してきました。今年のテーマは「箒杉のように、でっかく、たくましく」

2日目はスカウト達がどれだけ「たくましく」なったかを見られる登山で畦ヶ丸頂上を目指しました。天気の良い中、沢を横に気持ち良い登山。途中の休憩は沢の冷たい水でひと時のいやし。スカウト達は元気一杯。

しかしながら、頂上手前の避難小屋到着後には雷、雨、そしてヒョウと3拍子そろった悪天候。運が悪い？しかしそこは鎌倉5団。雨に打たれる前に避難小屋で休憩。運はある。

2時間の足止めをくらいながらも天候の回復後に下山。タイムスケジュールに大きな狂いが生じたものの、隊長のはからいで全員で温泉に行きました。この時の温泉は今まで一番気持ち良かった！

3日目はスカウト自作のいかだ遊びとシャワークライム。多少気温が低かった為、不参加もあったが、参加したスカウトは沢登りだけでは飽き足らず、沢下りも全員で制覇。

下見に行ったリーダーの意見では「上りで精一杯」と予測していただけに嬉しい結果でした。

スカウトのみんな、君達はこの一年で「でっかく、たくましく」なったね！



二〇〇八夏の村を終えて

カブ隊副長

菊地洋二

三泊四日の夏の村、スカウト達にとってもきっといい思い出になったに違いないと思いますが、自分自身にとっても印象に残る夏になりました。

一保護者から参加して、あれよあれよという間に副長を拝命し、この一年間スカウト達と同じようにいろんなことを体験してきました。

その集大成ともいえる夏の村、リーダーとしてちゃんとできるか？という不安と、スカウト達がどんなふうにかこの夏の村を楽しんでくれるかな？という期待感が入り混じった複雑な心境でした。

でも、そんな気持ちもいざ始まってみれば、スカウト達の成長ぶりに大いに驚き、また、たくましさを感じました。

ほうき杉のようにでっかくはないけれど、遅くたって最後までやり抜いてくれたことがとても嬉しかったです。

スカウト達には、この頑張る気持ちをずっと大切にしてほしいと思います。

また、大村育成会長に贈った色紙にも、受賞のお祝いと日頃の感謝の気持ちを上手に書けたと思います。

最後に、一日中スカウト達と行動を共にしたデンリーダー、本当にお疲れ様でした。

また、おいしい食事を作ってくれたキッチンの皆さんにもお礼申し上げます。

他隊のスカウト、リーダー、団委員の皆さんのご支援にも感謝いたします。

夏の村は終了しましたが、また初心に戻って、スカウト達と一緒に活動を通してさらに成長していきたいと考えています。

夏の村キャンプに参加して

佐々木由美

今年の夏は私にとって最後のキャンプ参加なので、最初から最後まで4日間参加しました。

私はキッチンでスカウトやリーダー達のご飯を作って皆においしかった、ありがとうと言われて作った疲れも忘れほどうれしかったです。

4日間、朝早く起きて、昼、夜とご飯を作るのは大変でしたが、スカウト達の様子も見れて楽しいキャンプでした。



キャンプした思い出

組長 **三好大翔**

ぼくはカブスカウト最後のキャンプをやりました。初日は周辺を探検しました。少しイカダを作りました。試運てんをしたら見事にうかびました。

次の日は、ハイキングに行きました。初めの方は歌を歌うぐらい元気だったが、と中からすごくへとへとになりました。おまけに、ひなん所では雨はふるわ氷までふるわ、もうさんざんでした。

そして次の日では川遊びで思うぞん分やったが、いかだがこわれてしまい悲しかったです。シャワークライムでは少しけがをしてしまったけど、とても楽しかったです。ラリーでは三位でした。キャンプファイヤーは、カブ弁ころりとチュッチェコレをやりました。ちゃんと成功したのでとてもうれしかったです。

そして、最後の日では、石に色や文字などを思い出としてもって帰ることにしました。今までのキャンプで今年が一番楽しかったです。

鎌倉5団の大滝キャンプ

次長 **日下 和**

今年の夏の村キャンプは、山北町大滝キャンプ場でみんなとすごしました。

八月八日の金曜日、一日目は、箒杉を見に行きました。高さは六十メートルぐらいもありました。すごく高かったので、写真をとりました。帰ってから、イカダ作りをしました。試運転をしたらうまうかびました。うれしかったです。

キャンプ一日目はぼくのおたん生日だったのでうれしかったです。

八月九日土曜日にハイキングに行きました。すごくせまい道もありました。と中でしかを2頭見ました。写真をとろうとしたらにげてしまいました残念でした。畦ヶ丸頂上にあと一分・二分で着くときに、雨がふってきたので、ひなん小屋でたいきして、頂上までは登れませんでした。すごく残念でした。

三日目は、一日目に作ったイカダ遊びをしました。すぐにこわれたので、うきわで遊ぶことになったけど、さむいし、口

がガタガタふるえていたので、シャワークライミングはやめました。やめたのがよっしーとしょうと浦山で、一人じゃなくて、よかったです。まっている間、ウノやトランプをやりました。

午後にラリーをやりました。班の名前は、かんパンです。班は、たいま君と小早川君とゆう吾としゅう吾と小せ村とささぬま君とけんとでした。ラリーで一番むずかしかったのは、伝言ゲームと人間ピアノでした。一番おもしろかったのは、宝さがしゲームでした。15このうち12こ見つけられてうれしかったです。

夜はキャンプファイヤーでぼくたちかんパンは、アリゴリズム体操をやりました。一組ではカブペンコロリンでした。ぼくはさるの役でした。二組のスタンツが一番すごかったです。出てもいいよと言われたのは、全部大介と出ました。とてもとても楽しかったです。

四日目は、キャンプの思い出作りでした。石に絵をかきました。

キャンプはとても楽しい四日間でした。来年もまた行きたいです。

大滝キャンプ場の思い出

しか **川村亮太**

ぼくはかまくら五団のキャンプにさんかした。8月8日から8月11日の4日間、一組のみんなとバンガローにとまった。

さいしょの日に、ほうきすぎを見にいった。その途中に、くもがタマゴを守っていたので帰り道にカメラでとった。

ほうきすぎは、じゅれい二千年の大きな木でよこはばはだいたい12mぐらい、たては60mぐらい。

次に、いかだ作りをした。形は、板を四まいつけて、真ん中はあいていて、うらにうきわをサイコロの五みたいにつけた。

夜に、みんなでトランプのばばぬきをした。

二日目は山のぼりをした。さいしょのこやにもついていないのにすごくつかれた。たまにはしがあって、わたるのがこわかった。こやについたときに、川であそんだ。そのときにふくがすこしぬれてしまった。そのときにカロリーメイトのチョコ味を食べた。

しばらくやすんでからまた歩いて、一組のみんな「キャンプのおまじない」を歌ったから、げんきがわいてきた。きゅうけいおのときに、お茶をたくさんのだ。二つ目の小屋についたときに、雨なので小屋で雨がやむのをまっていたら、雨がどんどん強まってついには雷までもなってきた。しばらく小屋でまっていたら、雨が弱まったので山をおりた。

夜、またトランプをしたけど、さいごまではしなかった。そのときにヤママユガがバンガローに入ってきた。とても大あわてでさいごにぼくがほうきにとまらせて、そとに出した。

三日目、川あそびをした。一日目に作ったイカダを川にうかせて、みんなでのったら、イカダがこわれてしまった。でもイカダからうきわをはずしてあそんだ。

次はシャワークライムをした。川のながれがつかったけど、なんとかうえまでのぼった。さいごはキャンプファイヤーをした。じゅんばんにスタンツをした。

四日目は、思い出づくりをした。石にえをかいて、思い出をかいた。

長そうなキャンプもすぐにおわってしまった。ちょっとつまらなかったけど、たのしかった。

大滝キャンプ場でキャンプ

しか **守田 渉**

ぼくは、キャンプに行く前は、すごくわくわくしていました。わくわくしている理由は、キャンプ場がどういう所かな?とか、イカダを作ることです。できれば緑が多い場所がいいな、と思っていました。

キャンプ場にバスで着いたら、山に囲まれたキャンプ場だったので、うれしかったです。1日目ははじまって、すごく楽しみにしていた、イカダ作りでした。ぼくは、こぐ竹に、くふうを入れました。作るの、少しむずかしかったです。ためしでは、バランスがよくて、3日目でイカダで遊ぶのが、楽しみです。1日目はイカダが楽しかったです。

3日目は、とうとう楽しみにしていたイカダです。川に入ったらすごく冷たかったです。イカダに、みんなが乗ったらすぐにこわれてしまってすごくショックでした。

いろんなことがあっておもしろかったです。

キャンプのおもいで

うさぎ **こせむらゆうた**

ぼくはキャンプの前のひにじんましんができてびょういんにいきました。ぼくはキャンプにいけるかどきどきしたけど、おいしゃさんが「いっていいよ」といってキャンプにいけました。

8月8日キャンプのしょにち、ほうきすぎをみました。じゅれい2000年、よこはば12m、高さ60m。どしゃくずれをとめたりっばなすぎです。ゆうがたにいかだをつくりました。よるに、ガヤハエがきて大さわぎになりました。

二日目、いかだをうかべました。いかだはしょうぶでした。こくわがたのメスをいっぴき見つけてにがしてやりました。よるに大きなガ(ヤママユ)がはいってきました。1組はかなり大さわぎしました。三日目朝、スタンツのじゅんびをしました。なぜなら今日はキャンプファイヤーだからです。スタンツはせいこうしました。キャンプファイヤーはせいこうでした。

川でもあそんだあとシャワークライムもやりました。ハゼもカニもおたまじゃくしもカエルもいました。キャンプはさいこうでした。



鎌倉5団のキャンプ

うさぎ **うらやまたもつ**

平成二十年度の鎌倉5団ボーイスカウトのキャンプは三泊四日で、場所の名前は大滝キャンプ場です。

八月八日金曜日の一日目は、西鎌倉のコープ駐車場からバスにのって大滝キャンプ場まで行きました。キャンプ場について、カブ弁を食べた後にいかだ作りをしました。その日の夕食は、カレーライスとサラダでした。夕食を食べた後、バンガローに入ってねました。

二日目はハイキングに行きました。行ったじゅんばんは、大滝キャンプ場発八時七分→登山口着八時十分・発八時十分→大滝着八時四十分・発八時四十分→一軒家避難小屋着九時四十分・発十時→大滝峠上着十時五十二分・発十一時七分→畦ヶ丸避難小屋着十二時です。とちゅうで雨がふってきたので避難小屋に避難しました。小屋に避難したけど雨がだんだんひどくなって、かみなりまでなってきました。一時間後かみなりがなくなるとも雨もやんで、ようやくしゅっ発して、なんとか大滝キャンプ場に着きました。

三日目は朝に川あそびをして、いかだもうかばせてのりました。その後にシャワークライムに行く予定でしたが、川あそびをしたあとさむかったのでやりませんでした。その間にトランプとウノをやりました。三日目の夜はキャンプファイヤーをやりました。その時は歌を歌ったり、おどりをおどったりしました。そのかわりねるのがおそくなりました。

四日目(最終日)は昼ごはんを食べ終わった後に、バスでかえる予定です。

またボーイスカウトのキャンプに行きたいです。



大滝キャンプ場での思い出 組長 **佐々木駿太**

今年のキャンプは僕にとって最後のキャンプです。ボーイに上がるから、またキャンプができるけど、カブにとって最後のキャンプです。1日目イメージより、いがいと広がったです。そして、バンガローにもつをおいて、樹齢二千年の箒杉を見に行きました。ついて見たら高さ四十五mもあるのにビックリしました。そしてキャンプ場にかえてきたら、イカダをつくりました。僕はトンカチのやくわりになりました。一時間ほどでできました。そして、みんなでイカダと写真をとりました。僕たちが作ったイカダのそうさ方法は、昔から鎌倉につたわる竹ざおと言うやりかたです。竹のぼうを岩と岩との間にいれて、進んだり、ブレーキをかけたりします。そして、夜ごはんは、チキンカレーでした。すごくおいしかったです。またあしたのたのしみです。

楽しかった夏のキャンプ 次長 **松沼勇吾**

今年のキャンプは大滝キャンプ場で、八月八日金よう日から、十一日の月よう日です。
初日に、テーマが箒杉のようにでっかくたくましくなので、その箒杉を見に行くことになりました。あるいて十分くらいでした。はじめのトンネルをぬけたら、きくちふくちょうに「箒杉ってどこお」と聞いたたら「真ん中に見えるじゃん」といわれて、前を見たら、ほんとうにどうどうとたっていました。
そしてついたら、じゅれい二千年のほどあって、高さが四十五メートルほどということでした。人に聞いた話だけど、山のどしゃくずれをとめたといっていました。
ほくも箒杉のように、年をとっても元気にたくましく生きたいです。

キャンプの思い出 しか **木村海生**

今年のキャンプは、うさぎのころよりたのしかったです。とくに、三日目の川あそび、シャワークライム、ラリー、キャンプファイヤーがものすごくおもしろかったです。
川あそびは川原でいかだをうかべてあそびました。でも、すぐこわれてしまったけれど、ものすごくたのしかったです。シャワークライムは、川原のちかくの川でした。シャワークライムはものすごくおもしろかったです。ラリーもおもしろかったです。けっかはピリでした。キャンプファイヤーは、今年のキャンプで一番楽しかったです。ほくらのスタンツの「もうじゅうがりへいこうよ」は、あつかったけれど、ものすごく気持ちよかったです。
ことしのキャンプは、心の中でずーっとわすれられないです。

たのしかったキャンプ しか **板倉 徹**

今年のキャンプは、大滝キャンプ場でやりました。やる日は、8月8日～8月11日までです。やったことは、ほうきすぎを見に行くこととハイキングとシャワークライミングといかだつくりとキャンプファイヤーです。あと川あそびとラリーもしました。
ほうきすぎはすごく大きかったです。ちょっとつかれました。ハイキングは、体ちょうがわるくて休んでいました。でも、木村副長がUNO(ウノ)でもしてふいふいよと言ったので、かいせいくんとササキくんとやりました。ついでに木村副長もいっしょにやりました。あとみんなよりもはやくおんせんに行きました。
シャワークライミングは、水が冷たかったです。流れが強い所は、大人に手つだってもらいました。ミヤマクワガタをつかまえたけど、すぐにがしました。いかだ作りは、切ったりするのがたいへんでした。川あそびの時、みんなのがつたらしずんでしまいました。けっきょく3人ずつのることにしたんだけど、さいしょの3人で終わってしまいました。
ラリーは、チームわけをしてやりました。ほくたちのチーム名はドラゴンズです。ラリーでほくがいちばんむずかしいと思ったのは、でんごんゲームです。キャンプファイヤーは、ドラゴンズのだしものは、うまくできました。キャンプはたのしかったしつかれたけど、さいこうでした。

はやかったキャンプ しか **平野義典**

8月8日初日、大滝キャンプ場をさんさくしました。バンガローは2組がきつきつでねられるくらいです。そのあと、じゅれい2000年の木をみにいきました。
2日目 8月9日 土曜日は山のぼりにいきました。あぜが丸という山をのぼりました。とちゅうから雨がふってきたので、ひなん小屋でおわりにしました。あぜが丸では川があり、はしがいっぱいありました。
3日目 8月10日 日曜日。ラリーをしました。いちばんたのしかったのは、たからさがしです。夜にキャンプファイヤーでした。しんかんせんとかがあり、2組のスタンツはせいこうしましたが、さいごができませんでした。
8月11日 月曜日。今日はキャンプのさいしゅう日。かわらにいき、思い出の石を2つみつめて、1つはキャンプファイヤーでもりあがっている絵、もう1つは、あぜが丸の山のぼりで、はしをわたっているところを石に書きました。たのしかったです。

大滝キャンプ場の思い出 うさぎ **芦澤優真**

今回のキャンプは山北町中川大滝沢出合大滝キャンプ場に行きました。一日目なのでちょっとワクワクしました。バスで3時間くらいでつきました。まずついでからバンガローに荷物をおいてから、カブ弁を食べてから、キャンプ場をたんさくしてから、ほうき杉を見に行きました。キャンプ場からほうき杉までの時間は歩いて20分くらいです。車で5分です。ほうき杉に着いてビックリしました。ほうき杉が太すぎでした。あんなに太くて大きい杉は、はじめて見ました。そのあと歩いてキャンプ場にもどってからいかだ作りをしました。ほくと佐々木くん、クギ係で、とおるくんとかいちゃんはノギリ係でした。ロープ係はまつぬまくとよっしーでした。いかだを作ってから一回うかべてみたけど、ながされてしまいました。だからキッチンよこに立てかけておきました。

夏のキャンプ デンリーダー **川村朋代**

私にとって、カブ隊のキャンプに参加するのは初めてで、しかも、リーダーとして参加するので、はっきり言って不安の方が大きかったです。3泊4日が、とてつもなく長く感じられ、準備している時から、無事終了した後の洗濯の大変さばかりを想像していました。
でも、実際の3泊4日は、あつという間に過ぎてゆき、家族だけでは味わえない、キャンプの楽しさをスカウトと共に楽しめました。
キャンプの前半は、体調の悪いスカウトもいて心配もしましたが、段々と2組としての団結力も増していったように思います。
寝泊まりもスカウト達といっしょだったので、活動では見られない様子も見ることができました。一人一人が、自分で気づいたことや、やれることを、言われる前にしてくれたり。一日一日成長しているんだなあと、うれしく頼もしく感じました。
キャンプの間、美味しい食事を作ってくださったキッチンのみなさん。楽しいキャンプのプログラムを考えてくださったリーダーのみなさん。影で支えてくださった団委員のみなさん。本当にありがとうございました。



CS
2
組

K5 平成20年度 大滝キャンプ場

組長 **島田大介**

キャンプ場についてから3日目、シャワークライムが一番楽しかった。だけど岩がごつごつしていたかった。ゴールは滝で、水しぶきがいっぱいきたのできもちよかったです。かえりはほんとうは、山の上をいくつもりだったけど、みんな川をくだるといいたしたので、川をくだることにしました。ほくは、シャワークライムが2回目だったけど、今年のほうがおもしろかったです。

二番目におもしろかったのは、ハイキングです。ひできときくちと3人でリードしていて、あとの2人は一番さいごでした。だけど、みんなおいついてきて、よかったです。とちゅうから雨・かみなりがきて、ひなんごやに入りました。2時間くらいいたので、とまるかと思いました。けど雨がおさまってきたのでかえると言われたのでよかったです。

いろいろあったけど楽しかったです。

大滝キャンプ

次長 **菊地修吾**

ほくは大滝キャンプ場にきていろいろな事をしました。一つめはバスにゆらゆらゆられてキャンプ場にきた事です。バスでは行ったことのないけしきをみたり。ねむたくなればねて、遊んだりしておもしろかったです。

二つめは、ほうきすぎへ行ったことです。ほうきすぎは、じゅれい二千年いう、とても長生きする木だそうです。大きさはとても一目では見わたせないほど大きかったです。ほくはほうきすぎがでかくて心強くなりました。

三つめは、いかだ作りです。みんなで力を合わせてくぎでうったり、のこぎりで切ったり、ロープで止めたりしました。とてもつくれたけど、やったかいがあったすごいいかだが出来ました。

四つめは、ハイキングに行ったことです。ちょうじょうまでがとても長くてつらかったです。岩がいっぱいあって上りばっかだったので、息がとても切れました。

やっとの思いでちょうじょうへ着いたけど、とちゅうで雷がきて雨までふってきてちょうじょうまであと0.1kmだったけど、雨がひどかったので山ごやでお昼ごはんを食べました。かんづめもおにぎりもとてもおいしかったです。外にでるとハエがとても多くて顔にいっぱいきてかゆかったです。

五つ目には、おんせんに行ったことです。おんせんにはろてんぶろなどがある、ハイキングのつかれがとれました。ろてんぶろは水がすべすべして気持ちよかったです。

六つ目はシャワークライムと水遊びをしました。水遊びの時はいかだをうかべてみたけど、ほくたちがのると、がんばって作ったくぎでうった所が外れてしまいました。ちょっとあぶなだったので、うきわだけで遊びました。水がとても冷たかったです。シャワークライムはすごいきおいのある小さな滝をどんどんつき進んで行きました。さいごには大きい滝のま下にきました。とてもすごいいきおいでした。

七つ目はごうどうラリーをしたことで

す。ボーイ隊、ローバー隊、ベンチャー隊とカブ隊がそろってラリーをしました。1ばんさいしょはでんごんゲームで、とてもひねっていて、そこで時間をくってしまい大変でした。

さいごはキャンプファイヤーをやりました。スタンプもきんちょうせずにできました。8こもすごい思いでができました。

キャンプの思いで

しか **村田直将**

1日目はバスで大滝キャンプ場までいきました。まずにもつをバンガローにおいて、まわりを見にいきました。川にきたとき、隊長が石ののって川をわたってたけど、川におちてぬれてしまいました。

そのあと、ほうきすぎを見にいきました。ふつうのすぎより24倍ぐらいでした。

2日目は、ハイキングに行きました。あともうすこしでちょう上だったのに、雨がふってきてひなんごやにひなんしました。そのあとかみなりもなりはじめました。1時間ぐらいそこにいました。やんだらすぐおりました。

3日目は川あそびをしました。水がすごくつめたかったです。そのあと、シャワークライミングをしました。のぼるのはたいへんでした。

4日目は重いでづくりで石をひろいました。たのしかったです。

K5 大滝キャンプ

しか **つついみほ**

私は、2008年の8月8日から8月11日まで大滝キャンプ場でキャンプをしました。

一日目は、キャンプ場のまわりをさんさくしました。二日目は、ハイキングに行きました。頂上までは行けなかったけど、

頂上のいっこ前の所まで行きました。とちゅうからカミナリがなりだしたので、畦ヶ丸避難小屋で二時間カミナリと雨があがるのをまちました。あがって進みだした時には、きりがいっぱいでした。

キャンプ場にもどってお風呂に入った時は、とつてもあったかかったです。

三日目はイカダとシャワークライムをしました。ごごにラリーとキャンプファイヤーをやりました。三日目が一番もりだくさんで、たのしい日でした。

四日目は、おもいで作りの石を川にとりに行って、とつてきた石に絵をかきました。つかれたけれど、とつてもたのしいキャンプでした。

四日間すごして今年のキャンプは、とつてもたのしいキャンプでした。

キャンプの思いで

うさぎ **川村英貴**

1日めはバスで3時間ぐらいバスにのりました。そのときにビンゴというゲームをしました。ビンゴをやった人がいきなりはいた時はすごくびっくりしました。でもビンゴはすごくたのしかったです。

2日めはハイキングでした。ハイキングはすごいキツくて、すぐにばてました。はじめはつかれたけど、中かんぐらいですごく早く行けました。でもしばらくすると、またつかれました。で、すごいですむと雨がふって、きゅうけいじょへいきました。雨がすごいふって、雷もなりました。はじめはけっこうこわかったです。でもすこしたつとこわくなくなりました。げざんちゅうは、こけたりもしました。ハイキングはとつてもつかれていやだったです。ハイキングのあとにおんせんについて、あたたかくてとてもきもちよかったです。すぐにあがりました。

はじめてのキャンプはたのしかったです。

キャンプの思い出

デンリーダー

平野ひろみ

楽しかった、あつという間の4日間でした。去年はキッチン、今年はデンリーダーと違う立場でキャンプへの参加を試みて、今年は、とにかく子供たちと24時間一緒に動き、遊び、食べて寝てと、とても楽しかったです。日々の生活から離れ、3食のご飯作りからも開放され、私自身、とても新鮮な気持ちで、4日間を過ごすことができました。

我が3組の子供たちは、ちゃんと自分の頭で考えられる子供たちで、私が口を出さなくても、自分たちで行動してくれました。くまのスカウトがいないのですが、その分それぞれのしかスカウトが、自分の得意分野で力を発揮してくれました。1日目のいかだ作り、2日目のハイキング3日目の川遊びシャワークライム、営火と、チームワークよく、うさぎスカウトをうまくリードしてくれました。また、うさぎスカウトも組の中で一番よく食べ、何事も臆することなく挑戦して、楽しんでいました。皆、よく食べ、よく眠り、よく笑い、一人も具合の悪くなる子もなく、2日目の最優秀組、そして4日目にはキャンプ全体の最優秀組に選ばれ、私も含めて皆満足のいくキャンプではなかったかと思います。

最後に、キャンプのサポートをしてくれた各隊の関係者、団委員の皆様、カブ隊の隊長副長、保護者の皆様、そして毎日おいしい食事を作ってくれたキッチンの皆様に、厚く感謝いたします。

「箒杉のようにでっかく、たくましく!!」。何事も経験、学習ですね。皆、何か一つでもつかんだかな？



たのしかったキャンプ ささぬまかおる

キャンプファイヤーのおどりがすごくおもしろかったです。ごはんもすごくおいしかったです。川で、おたまじゃくしを一びきだけつかまえました。かえりのまえに川でおよぎました。バスにのってりゅうこうみょうじんじゃにきました。そこでかにさされました。

2008 夏の村 副長 守田智恵

笹沼スカウトにとってビーバー隊での最後のキャンプでした。思い出はたくさんできたかな。川遊びで見つけたまだら模様のおたまじゃくしや、樹齢2000年のほうき杉に「!!」大滝キャンプ場は水辺がとても気持ち良いので、もう一度行ってみたい所でした。ご協力下さった皆様に深く感謝いたします。

ビーバースカウト隊

BVS

「夏の村」に参加して 隊長 上野真由美

2008年度、ビーバースカウトは2名でした。キャンプも、「ビッグビーバーの笹沼スカウトのみの参加」となりました。東海道線・御殿場線と乗り継ぎ、到着した「谷峨」の駅のローカルなたたずまいに、スカウトも感動していました。キャンプ場に到着し、入村式後、川遊びへ。川は、下見で来たときの半分以下の水量になっていて、守田副長と自然の変化の大きさにびっくりしました。午後からは団全体の活動なので、笹沼スカウトはグループに入れて頂き、一員としてとても楽しそうでした。キャンプファイヤーも、お兄さん・お姉さんたちと一緒に、うれしそうでした。

「仲間は、多い方がいい」と実感しました。この1年、守田副長と団の方々に協力していただき「ビーバースカウトの増員」のためいろいろと企画をしていただきましたが、とてもむずかしかったです。今の日本のビーバー隊には、「2015年世界ジャンボリー山口に参加するスカウトを育てる」という使命をコミッショナーから言い渡されています。まだ、かわいらしい彼らを、ジャンボリーに参加できるようにたくましいスカウトに皆さんと育てていきたいと、このキャンプを経験して決意しました。キャンプでは、大変お世話になりました。そしてこれからもスカウト一人一人のために、皆さんと協働して頑張っていきたいとおもいます。よろしくお願ひします

V/S

ベンチャースカウト隊

遠征報告 八戸祐樹

テーマ
登った、廻った、見た。

目的
平成20年度夏季遠征では、磐梯、猪苗代における高原地方独特の自然を体感する。またスカウト各自が個別にテーマを設定し、それぞれの視点で会津の歴史と文化を体験することにより、文化活動のアワード取得を目指す。そしてその中でスカウトとして「ちかい」と「おきて」の実践に努めることを目的とする。

内容
プログラム1：磐梯山登頂
プログラム2：猪苗代湖周回サイクリング
プログラム3：個人プログラム
・八戸祐樹
「～会津若松攻防戦～明治維新考」
・鈴木大二郎
「白虎隊、永久に語り継がれるもの」
・鶴田峻平
「会津若松の食にふれる」

日時
平成20年8月16日(土)～8月20日(水)

展開地域
福島県 猪苗代湖・会津若松市内周辺

ベースキャンプ
蟹沢浜キャンプ場
耶麻郡猪苗代湖町大字扇沢字蟹沢浜

評価と反省

・磐梯山登山
久しぶりの登山となったわけですが、かなり体力のない私にとってかなり過酷な内容になりました。カモシカの親子に会ったりなどいろいろなことがあり、かなり面白くはありました。

しかし登山口に着くまでの12.5kmが一番厳しかったような気がします。最後までついていけたのが僥倖でした。

登山コースについては計画書どおりに行動することができ、山頂につけたのは班員のスキルが上がっているのか、単に迷わなかっただけなのか、いいことであると思います。

・猪苗代湖一周サイクリング
山手線よりちょっと大きい湖を自転車で一周してきました。湖面沿いとはいえず、山道を自転車を押して進むシーンなどもあり厳しくもありました。

しかし、景色の美しさ、反対側から見た磐梯山との対比がとても美しく、昨日登った山だと思つと感慨深かったりしました。

反省点としては、農道のためどこで曲がるかがいまいち分からず引き返したりしているのも、もう少し慎重に走るべきだとも思いました。

・個人プログラム
会津戦争の激しい攻勢を白虎隊の視点から検証することが今回の目的でした。実際に現地に行き、より現実に近い、リアルな内乱を体感できました。

鶴ヶ城を砲撃した台場跡や、今でも弾丸痕が残る屋敷、両軍の墓地など、地図では分からなかった位置関係が分かりました。

会津の人々の息遣いが聞こえてきそうな2日間でした。

・総括
いざさか昨年より規模が小さくなりましたが、活動の質は同じであったと思います。

雨がちなプログラムではありましたが活動すべて展開できたのは良かったと思います。



カブ隊の隊長を終えて 鈴木英紀

平成20年9月7日のカントリーは暑い中での活動であったが、無事に終了しました。これをもって、私のカブ隊長としての3年間の役目を終わることができました。この間、スカウトには大きなケガもなく、無事に終えることができたことに安堵しています。これもひとえに、頼りなく忘れっぽい隊長を支えて頂いた前および現リーダー、さらに保護者の皆様の御協力の御陰と感謝している次第です。

振り返れば、3年前に湊前隊長から引き継いだ時はビーバー隊長以来のことでしたが、ボーイスカウト活動にたず



さわるようになりほぼ10年目で50歳を越えていました。当時、カブスカウトは9人、隊長が決まっていただけで、副長以下はまったく決まっていなかった状態でした。緊急の保護者会を開き、三牧さんと高田さんに副長になっていただき、デンリーダーも何とか決めてのスタートでした。最初の世附川ロッジキャンプでの営火では、隊長と三牧さんが出ずっぱりだったことなどが懐かしく思い出されます。2年目になりますと、高田副長はボーイ隊に移ったものの、小早川さん、木村さんに副長になって頂き、女性リーダーが3人となる華やかなリーダー陣となりました。また、佐々木さんにはインストラクターになって頂きました。この時、ウサギスカウトが11人にもなり、スカウトの合計が20人を超す大所帯となりました。ただ、スカウトの体力差が余りにも大きかったために、センタービレッジキャンプ場での登山では、キャンプ場への帰着が1時間の差になってしまいました。3年目になりますと、スカウト父親である新井、菊地、佐々木さんに副長、村田さんにインストラクターとして加わって頂き、前年度とは逆に男性リーダーの隊となりました。男性リーダーが増えたお陰で、指導者間の協力、分担も円滑になり、理想のリーダー体制でした。その結果、富士登山、大滝キャンプ場での水遊び、シャワークライムをはじめとするいくつかのダイナミックなプログラムもできた上に、隊長も少々楽をさせて頂いた1年間でした。

来年度は老兵が去り、カブ隊の新井さん、ボーイ隊の佐々木さんという30代の若い隊長が指導するリーダー編成となります。他団ではリーダー不足と聞くなか、鎌倉5団でも一時は同じ状態だったものの、来年度に向けて理想的なリーダーの世代交代ができたと思います。そこで、保護者の皆様には新リーダーの方々への信頼と協力をお願い申し上げる次第です。そして、次は自分との自覚をして頂ければ幸いです。最後に、鎌倉5団の若いリーダーに栄光あることをお祈りします。



6月8日(日) バザー

6/8(日)西鎌倉小学校をお借りして、恒例の5団バザーが開催されました。途中小雨のばらつくあいにくの空模様でしたが、198,075円の売上げ、127,185円の収益を得ることができました。

売上金は一部(リサイクルコーナーの売上分10,500円)をユニセフ募金とし、その他は夏の村を中心とした団活動費に充用させていただきました。

カブ隊による朝採り新鮮野菜販売は

今はもう「5団名物」と言って過言ではありません。また本年度は、ボーイ隊が完全独立採算制で、初めて模擬店に参加し、じゃがバター & チョコバナナとフル回転。ゲームコーナーでは、参加した小さい子供たちが年長スカウトたちを慕ってまわりつく微笑ましい光景も見られたり、バザー開催の目的である3つの柱「交流」「収益」「広報」が遂げられたことと信じています。

改めまして、献品をはじめ、さまざまな準備、各模擬店の切り盛りまで、皆様のご協力を心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



8月23日(土) 西鎌倉幼稚園の 夏祭り

8月23日、恒例の西鎌倉幼稚園の夏祭りが開催されました。いまや5団名物(?)の釜飯も美味しく出来上がり、カブ隊のお母様、団委員の手で次々にパック。売れ行きも好調でした。

これも名物になったベンチャー隊の八戸スカウトが真心こめて育てた鈴虫も大人気。毎年楽しみにしているリピーターもいました。

ビーバー、カブのゲームコーナーも好評で、紙飛行機飛ばし、折り紙釣り、新聞紙棒立て競争、ブラックボックス(チョットこわ〜い)など面白いアイデアいっぱいでした。みんな張り切ってお客さんをお呼びしてボーイスカウトって楽しいよというPRになりました。

ヤッターね! 三好スカウト スーパーカブおめでとう!!

※カブスカウトの進歩課題には「修得課題」と「選択課題」があります。「選択課題」は「チャレンジ章」と呼ばれ、現在40課題設けられています。この40課題すべてに挑戦し、修得したスカウトのことを「スーパーカブ」と呼んでいます。

2008年・スーパーカブ 三好大翔スカウトに聞きました。

- Q** スーパーカブに挑戦しようと思ったきっかけは?
- A** チャレンジ章が全部欲しかったから
- Q** チャレンジ章で得意な部門はなんですか?
- A** 水泳選手
- Q** チャレンジ章の中で一番大変だったのは?
- A** 気象学者
1年間新聞を切り取ったり、温度・湿度・風向・天候を調べて記録したこと。
- Q** カブ隊の後輩にひと言
- A** 富士登山はつらいけど、がんばれ!